

SHIMANO



SHIP

DIGITANA SLS

LEVER DRAG  
4000XT

LEVER DRAG  
2SPEED 4000XT

取扱説明書

このたびは、シマノデジタナSLSシリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚取りの精度が釣果の決め手となります。

そこで、デジタナSLSシリーズでは、シマノ独自のSLSII（シマノ・ラインプログラム・システム2）を搭載。

さらに、上から棚を取る釣りと、底から棚を取る釣りに必要な水深を一目で表示する新カウンターに加え、レバードラグリールにクラッチシステムをプラス。素早いシカケの投入と、

より正確な棚取りを可能にしました。

また、SHIP（スムーズ&ハイパワーシステム）を採用するにあたり、クランク&ハイパーハンドルIIを搭載。スムーズな回転、快適で力強い巻き上げを実現しています。

レバードラグ・レバードラグ2スピードの機能をフルに引き出し、未永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

# 特長

- 1** SHIP(スムーズ&ハイパワーシステム)を採用しスムーズな回転、強力な巻き上げを実現。  
もちろん定評の専用大型ドラグワッシャーが組み込まれていますので、スムーズ&ハイパワーをドラグ性能の面でもサポートしています。
- 2** レバードラグに操作性の良いクラッチシステムをプラス。  
竿を握ったまま親指一本で素早いクラッチのON、OFFができます。従来のようにドラグレバーを操作する必要がないので、あらかじめ設定しておいたドラグ力が狂うことはありません。
- 3** 大物とのやりとりに威力を発揮するクランク&ハイパーハンドルII。  
より大物を対象とするレバードラグリールに、クランク&ハイパーハンドルIIを新採用。ハンドルの形状・角度の工夫、ハンドル位置をロッドの近くに持つことにより、力が入れやすく巻き上げがグラつくことはありません。
- 4** ファーストストライクポジション、セカンドストライクポジション、サードストライクポジション、3つのストライクポジションを設置。  
通常、細め・太め3種類のハリスを使い分ける場合でも、主に使用するハリスでドラグ力を設定しておけば船上でハリス号数を変えたときでもレバー位置(ドラグ力)の目安とすることができます。
- 5** 底取りと快適な巻き上げに威力を発揮するスーパーstopper。  
2スピードモデルは通常のstopperです。
- 6** 「上からモード」「底からモード」切り替えて棚の水深が一目でわかる新カウンター。  
船釣りの棚の取り方は釣場、釣り方、対象魚などにより、上(水面)からの水深で棚を取る方法と、いったんシカケを底に着け、底から何mが巻き上げて棚を取る方法の2種類があります。上から釣る時は水面からの棚の水深、底から釣る時は底からの水深といったように、場合に応じて重要な水深を一目で表示します。
- 7** SLII(シマノ・ラインプログラム・システム2)を搭載。すばやく、正確にタナを狙えます。  
リール本体からローラーをなくしたので、シカケの落下が速くなり、しかもローラーのスリップによる誤差もありません。
- 8** リールをホールドする左サイドプレートからバルトをなくしたフラッシュサーフェスデザイン。
- 9** シマノデジタナシリーズだけの簡単操作。  
デュラPE 8号300m巻いたデータはインプット済み。正確な水深を表示させるための0セットシステム。  
アラームで竿を上げればシカケが手元にくる船ベリアラーム。高切れをしても安心な、ワンタッチ高切れプログラム補正システム。精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。  
(100m以上は1m単位)  
ドラグのスベリが音でわかる、ドラグアラーム。  
ファインセラミックガイドリング採用のDDL  
(ダイレクトドライブレベルウィンド)。  
レベルウィンドで指をはさむのを防止する、セーフティレベルウィンドカバー。

# デジタルカウンターの各部の名称

**現在の水深**  
「上からモード」の時は水面からの水深、「底からモード」の時は底からの水深を表示します。

**モードボタン**  
(6～11ページ参照)

先の細いものでワンタッチ

押すごとに学習・指定・下巻の順でモードが切り替わります。

**ON/上底切替・OFFボタン**  
(6・14ページ参照)

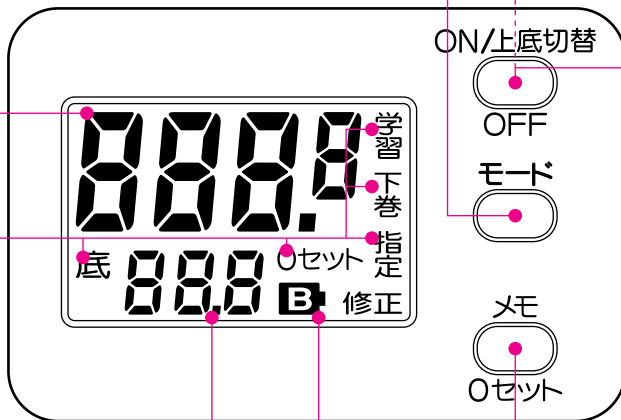


電源をONにします。その後は押すごとにそれぞれ底からモード・上からモードが切り替わります。



電源をOFFにします。

**各種表示**  
底：底からモード時に点灯します。点灯のない時は上からモードです。  
学習・指定・下巻：各モード時に点灯します。  
0セット：0セット受付時に点灯します。



**メモカウンター**  
メモリーした水深を表示します。

電池の交換時期になると点灯します。

**メモ・0(ゼロ)セットボタン**  
(12・13・15・16ページ参照)



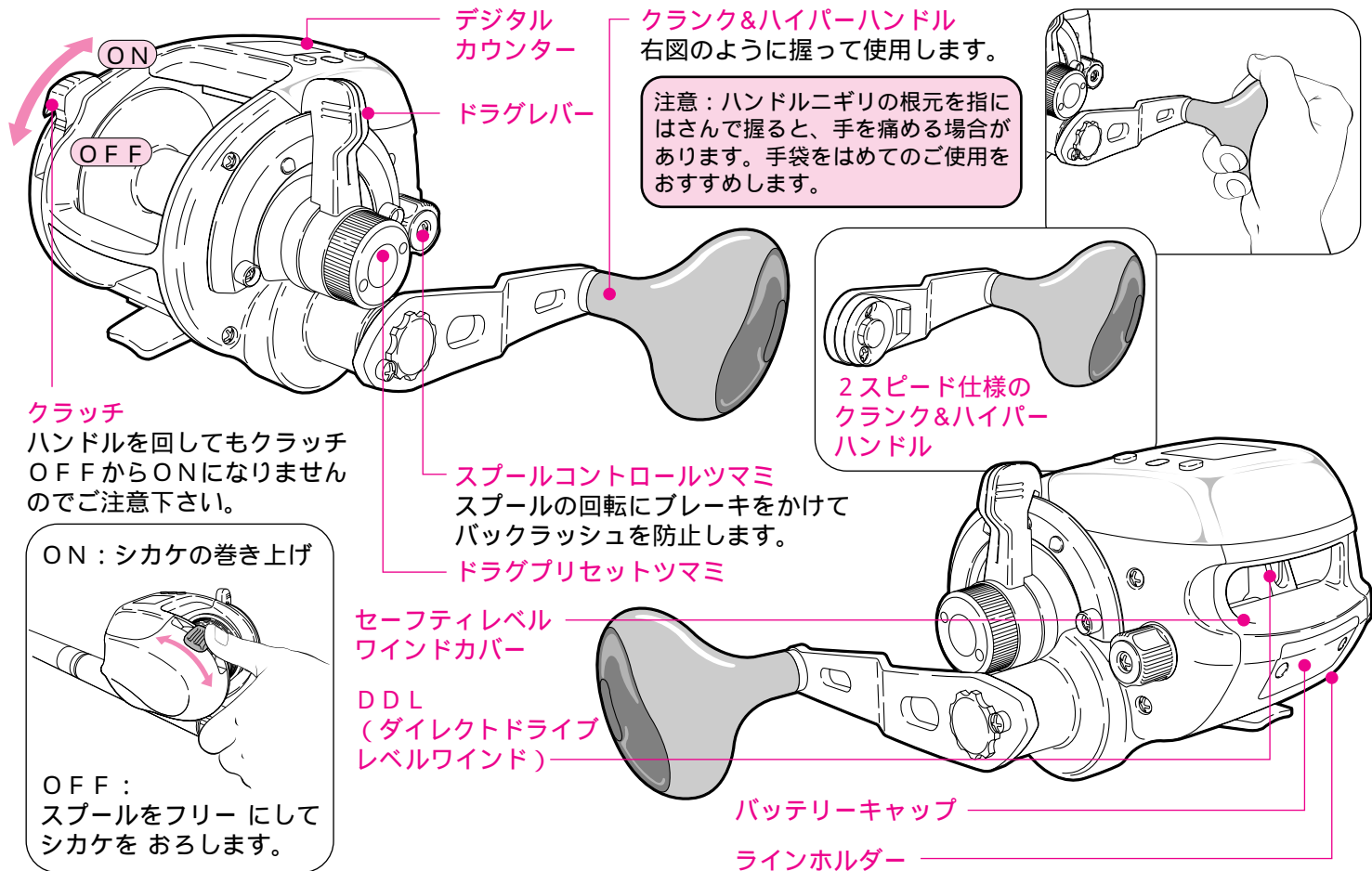
上からモードの時に現在の水深をメモリーします。「底からモード」の時には同時に現在の水深が0.0になり底からのカウントになります。



0セットします。シカケを水面に合わせて0セットしてください。

図は説明のために液晶を全部点灯させています。

# 各部の名称



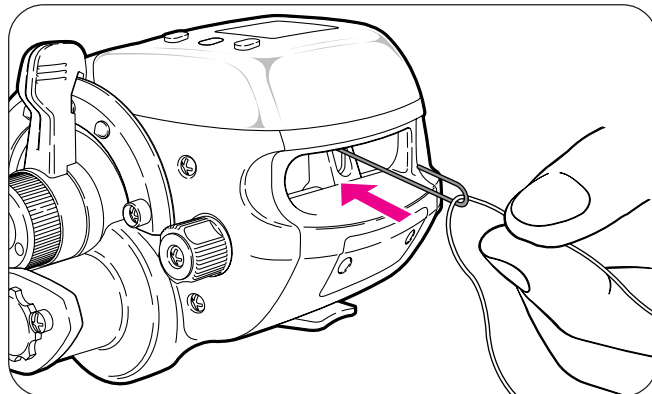
# 学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。

操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

## 1 糸をセットします。



**1** 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルワインドに通します。

**2** 糸をスピールのピンに結んでください。

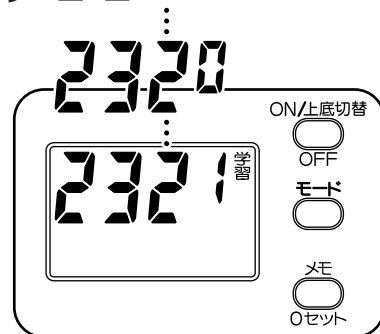
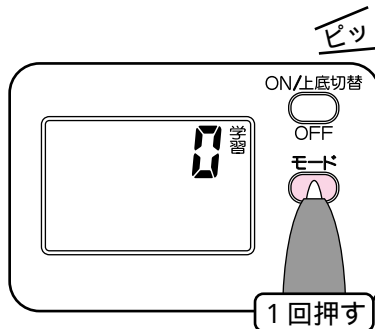
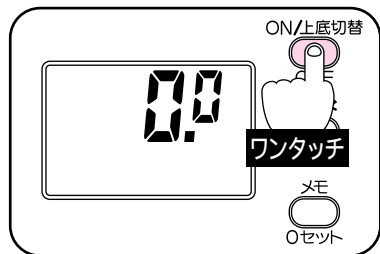
**3** 1～2回ハンドルを正転させ、スピールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

## 2 その1 : PEライン (新素材系) を巻かれる場合 学習モードを使用します。

ナイロン系 (メータのマーカのない系) を巻かれる場合は8・9ページをごらんください。  
また、デュラPE (新素材) 8号-300m巻いたデータはすでにインプット済みです。(指定モード・10ページ参照) 下巻を行っての学習も可能です。(下巻モード・11ページ参照)

23 19 ● スプールの回転数を表示します。



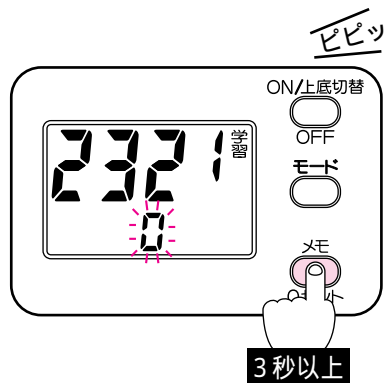
- 1 電源ONを確認してください。  
液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合は、ON/上底切替・OFFボタンを3秒未満押し続けて電源をONにしてください。

### 電源をOFFする方法

40分以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。  
ご自分でOFFにされる場合は、ON/上底切替・OFFボタンを3秒以上押し続けてください。

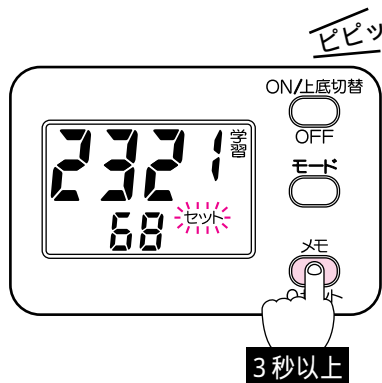
- 2 モードボタンを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。  
モードボタンを2回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。  
(モードボタンはペン先のような先の細いものなどで操作してください。)

- 3 糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約1000gのテンションを目安にしてください。)



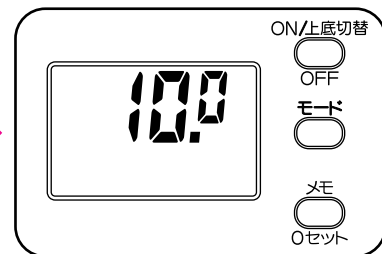
3秒以上

- 4** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の変化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。



3秒以上

- 5** 回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押ししてしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。

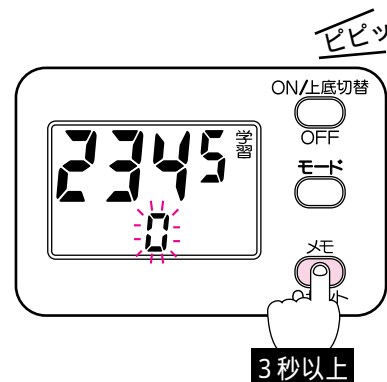
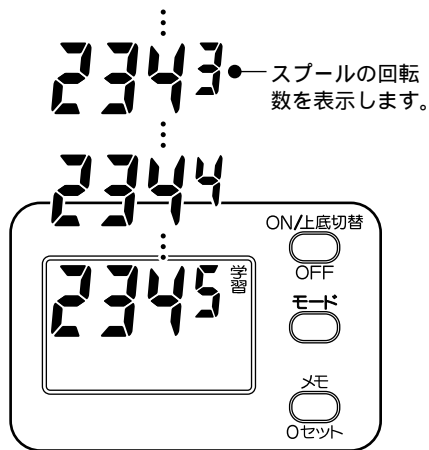
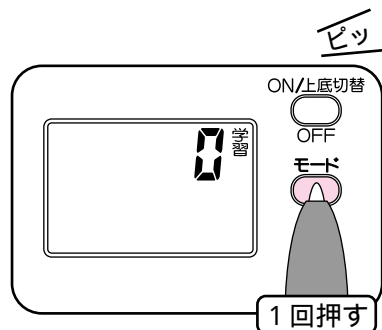


- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。(糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

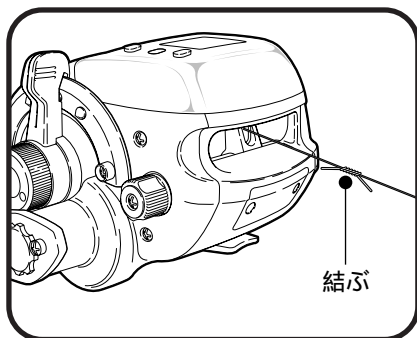
# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

その2： ナイロン系 (メータのマーカのない系) を巻かれる場合  
学習モードを使用します。

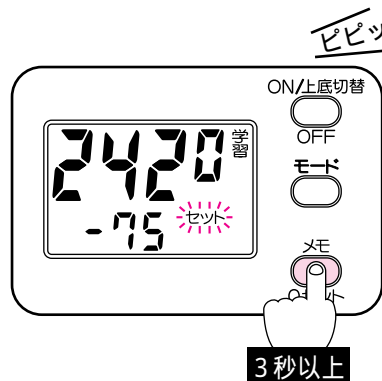


- 1** 電源ONを確認してください。  
モードボタンを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。  
(モードボタンはペン先のような先の細いものなどで操作してください。)
- 2** 糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約1000gのテンションを目安にしてください。)
- 3** 糸を完全に巻き終わったら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。  
表示は図のようになります。

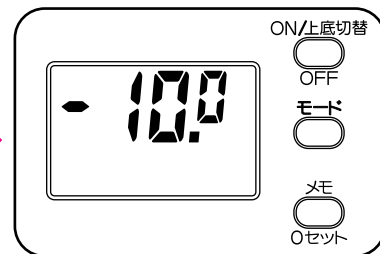




- 4** 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけます。



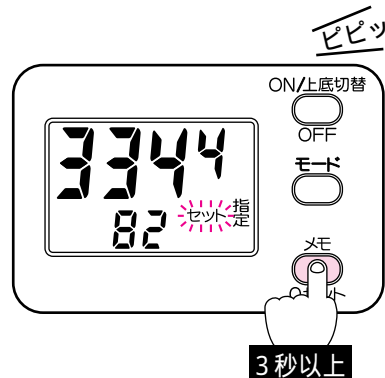
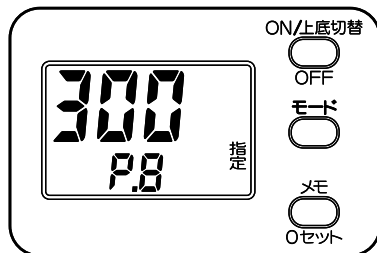
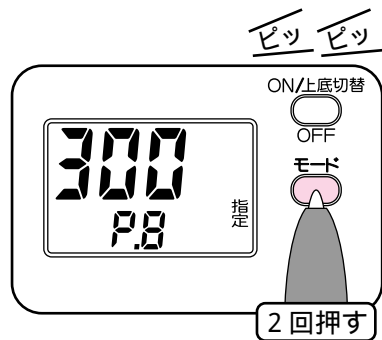
- 5** 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。



- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
 (糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)  
 誤差とは、学習後最初の1投目の誤差です。
- 7** 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

# 学習方法 (インプットずみのラインデータも使用できます。)

その3：シマノ・デュラPE 8号-300mを巻かれる場合 指定モードを使用します。  
このリールにはデュラPE (新素材) 8号を300m巻いたデータがインプットされています。この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。



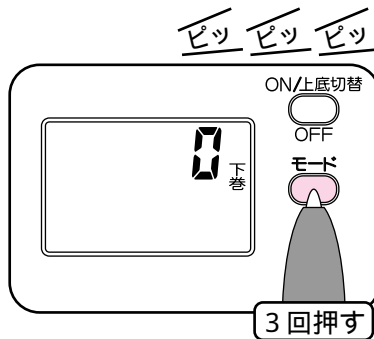
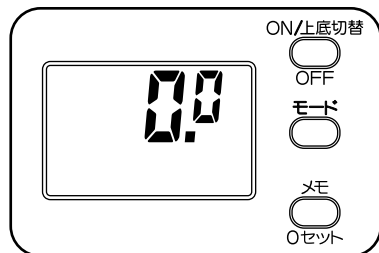
**1** モードボタンをペン先のような先の細いもので2回押してください。  
「指定」が点灯、図のように表示され、指定モードになります。

**2** 糸を巻いてください。  
表示はこの時変化しません。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約1000gのテンションを目安にしてください。)

**3** 糸を完全に巻き終わったら、学習を終了するためメモ・0セットボタンを3秒以上押してください。  
表示は図のようになり、「セット」が表示されます。  
各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。

# 学習方法（下巻をした後で学習が行えます。）

その4：下巻をしてPE 8号-200mを巻かれる場合  
下巻モードを使用します。



- 4** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
(先に指定糸を巻き取り、**1****3****4**の順で学習を完了することも可能です。)

ご注意：他社PE8号-300mを使用される場合、カウンターの誤差が3%を超えて生じる場合があります。

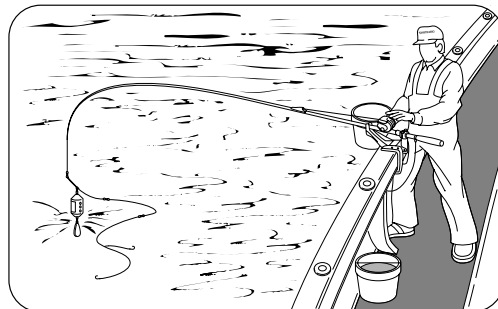
- 1** 下巻モードに入る前に、スプールの下巻ラインまで下巻を行ってください。その後、PE8号-200mを結んでください。
- 2** モードスイッチを3回押してください。  
「下巻」が点灯、図のように表示され、下巻モードになります。  
その後、6・7ページの**3**～**7**と同様の方法で学習を完了してください。

# 0(ゼロ)セットの設定 (釣りを始める前に必ず行ってください。)

## 3 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには正確な棚取りが不可欠です。  
そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定します。  
「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、  
正確な棚取りを可能にします。

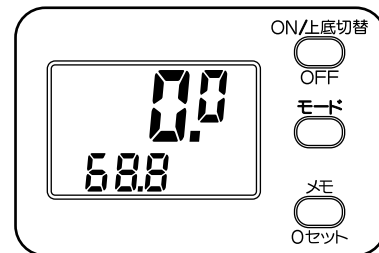
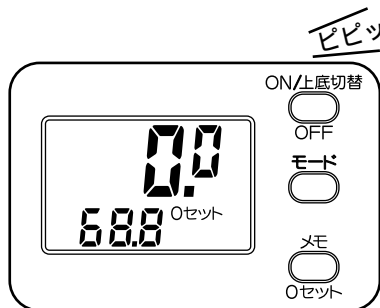
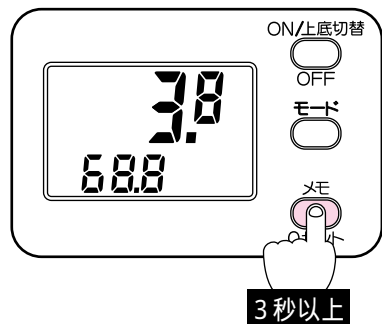


シカケが水面にある時を0mとして設定します。

- 1** シカケを水面に合わせ、0セット  
ボタンを3秒以上押し下さい。  
(図は上からモードになっています。)

- 2** 下図のように表示が変わります。  
(現在の水深が6.1m以上の時は、いったん  
「ピッ」のアラームとともにメモとして受  
け付けますが、そのままボタンを3秒以上押  
し続ければ、再度0セットとして上図のよ  
うに受け付け直されます。)

- 3** 0セットの表示が消えれば、これで  
完了です。



# 0(ゼロ)セットについて

## 4 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。次に糸を出すと、マイナス表示からプラス表示へと変化します。

注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

## 5 高切れした場合。

高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度**3**の**1**、**2**の順で0セットを行なってください。これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

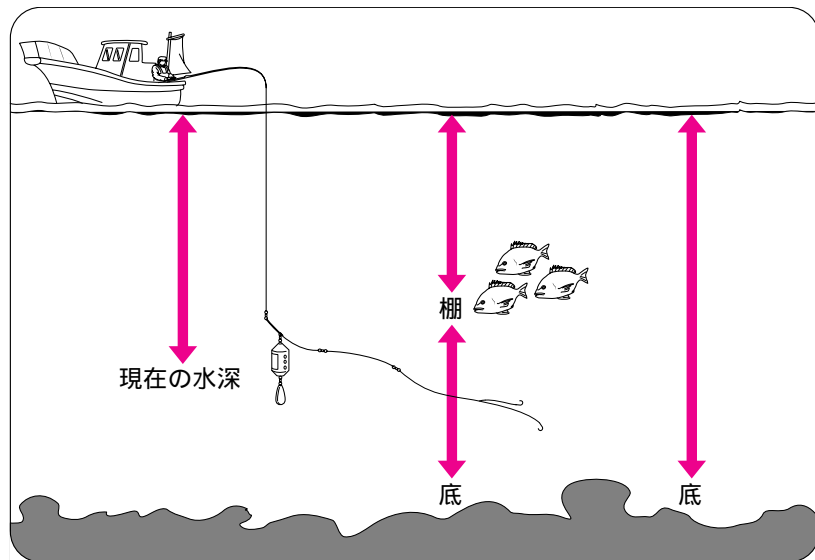
# 2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード

## 6 棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深（すなわち棚）にシカケを降ろすかということです。最近では高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。通常、船長がこの棚を教えてくれます。

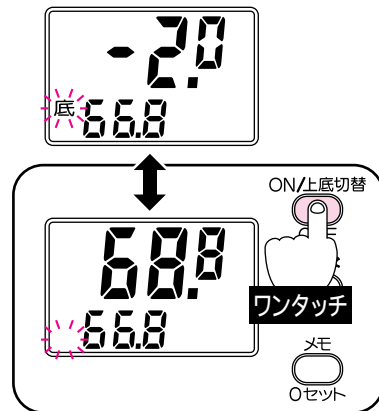
この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。

NEWレバードラグ・レバードラグ2スピードは、上から棚をとるのに便利な「上からモード」と、底から棚をとるのに便利な「底からモード」の2つのモードを備えています。その日の釣りに合わせて切り替えてご使用ください。



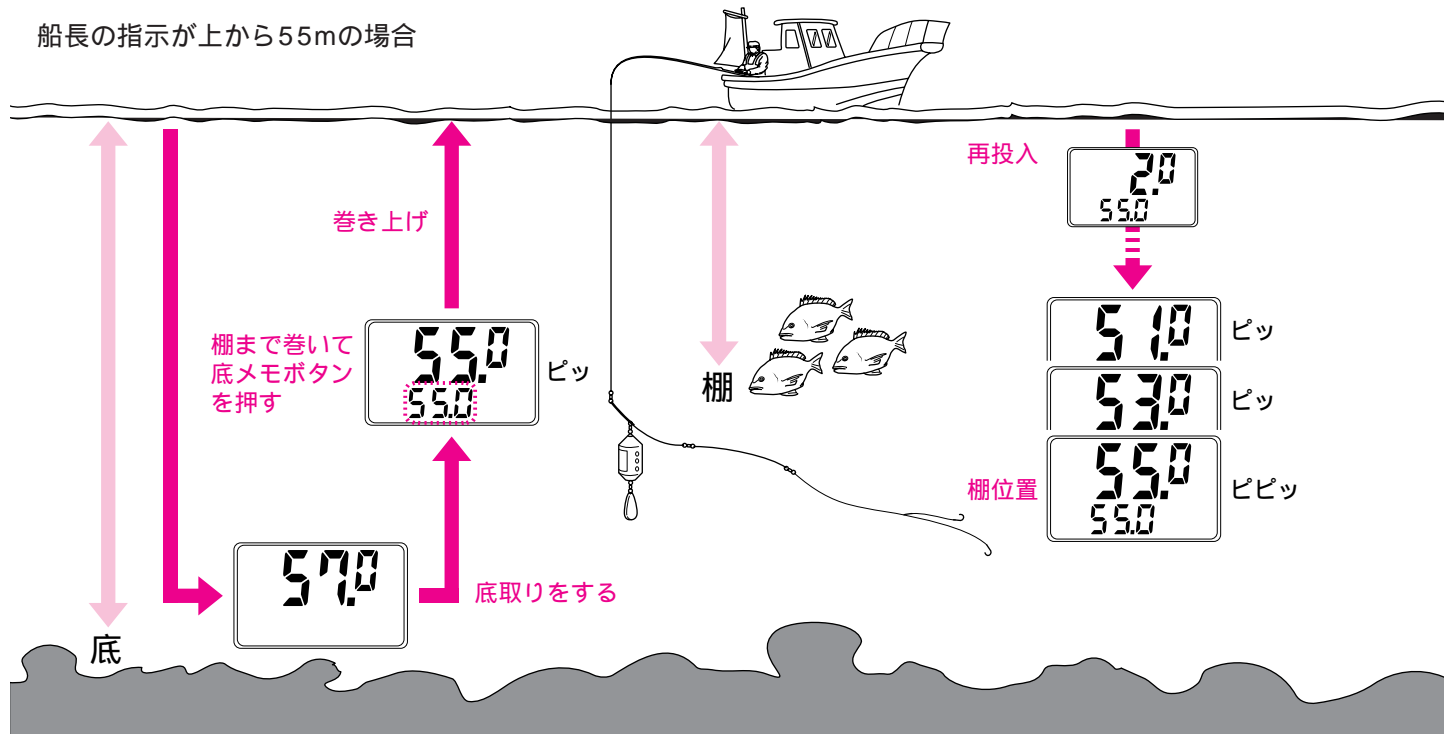
### モードの切り替え方法

ON/上底切替・OFFボタンを押してください。「上からモード」と「底からモード」が押すたび交互に切り替わります。「底」の表示は底からモードです。表示のない場合は上からモードです。



# 上からモードの実釣編

船長の指示が上から55mの場合



**1** シカケをいったん底につけます。

**2** シカケを巻いて棚に持ってきます。

**3** メモボタンを押して棚をメモリーします。

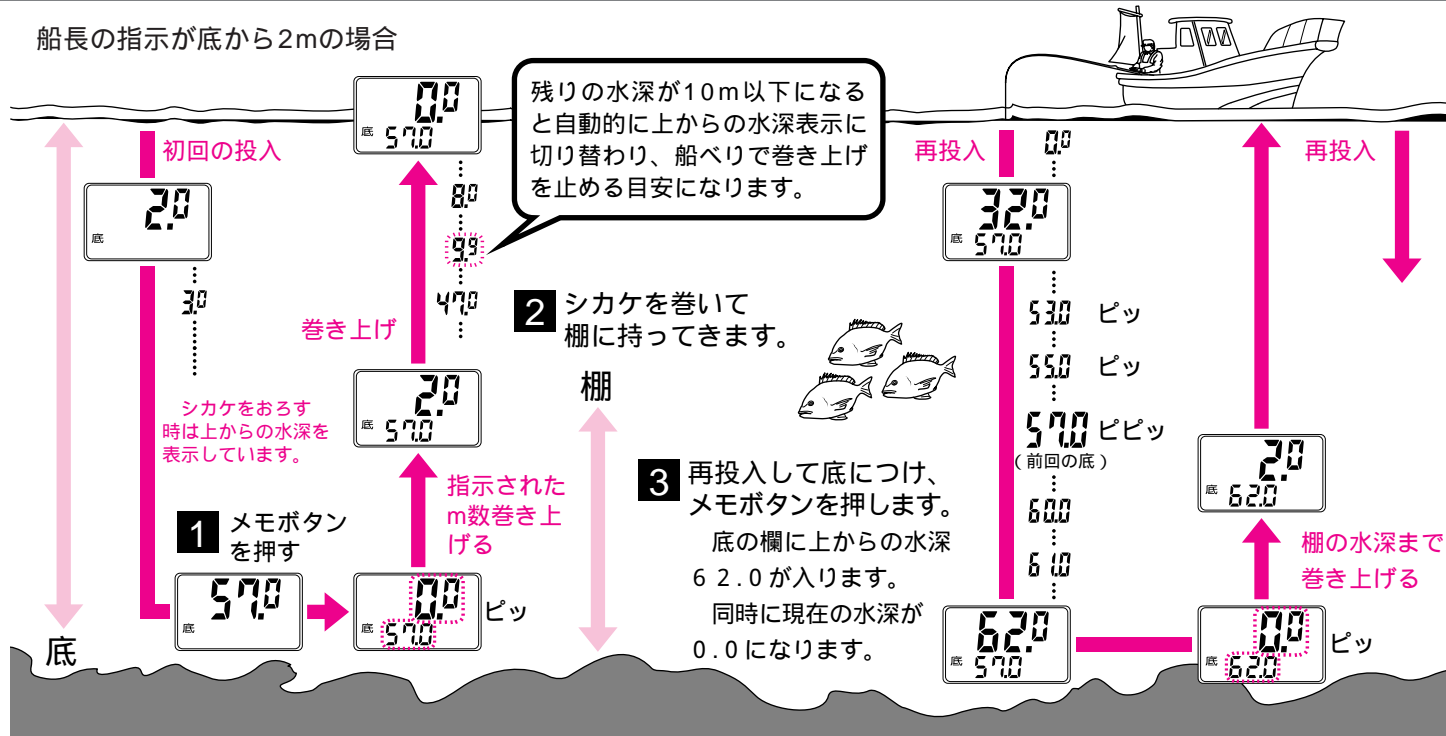
以上は底取りをして底の水深を知りたい場合ですが、直接指示の水深にシカケを投入し、メモボタンで棚をメモリーすることも可能です。

**4** 再度投入します。

シカケを降ろす方向のみ、棚の4m手前でピッ、2m手前でピッ、棚位置でピピッとアラームが鳴ります。1回の上げ下ろしで、1回のみ発音します。

# 底からモードの実釣編

船長の指示が底から2mの場合



残りの水深が10m以下になると自動的に上からの水深表示に切り替わり、船べりて巻き上げを止める目安になります。

- 1** シカケをいったん底につけ、メモボタンを押します。  
底の欄に上からの水深が入ります。  
同時にメインカウンターの水深が0.0になります。  
リールを巻き上げるとプラスにカウントし、底からの水深を表すようになります。

**解説！**  
船長の指示が「底から何m」といった場合、釣りはシカケをいったん底まで降ろして指示されたm数だけシカケを上げます。  
(コマセ釣りの場合は通常この時にコマセを振ります。)  
底の状態の変化に魚が平行して付いている釣場では、シカケの投入のたびにシカケを底に着けてから棚を取り直します。



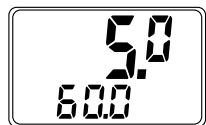
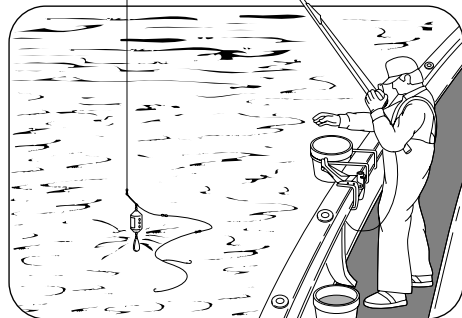
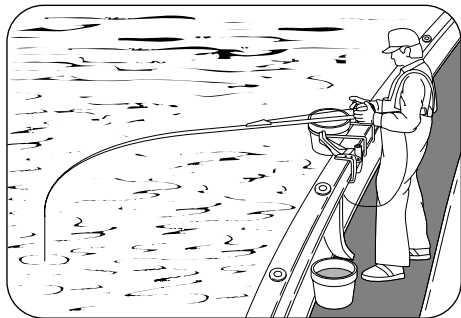
# 船ベリアラーム

## 7 船ベリアラームが自動的にセットされます。

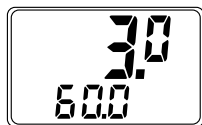
巻き上げを終えて竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来ればコマセの詰め替え・エサ付けがスムーズに行なえ、手返しを早くすることができます。このリールでは、船ベリで「ピピッ」アラームが鳴った時に竿を立てると、シカケが正確に手元にくるように自動的に設定されるようになっていきます。

アラームが鳴る水深が設定されたときは「セット」の表示が2秒間点灯します。

電源投入時初回のみ6mで船ベリアラームが設定されています。2回目以降はコンピュータが自動的に判断して、シカケは前回の投入の位置で自動設定します。（この機能は1m～6mの範囲で作動します。）



ピッ



ピッ



ピピッ

**1** アラームは、記憶した船ベリ停止位置よりも4m手前から、3回鳴ります。

**2** 「ピッ、ピッ、ピピッ」と3回目の「ピピッ」で、

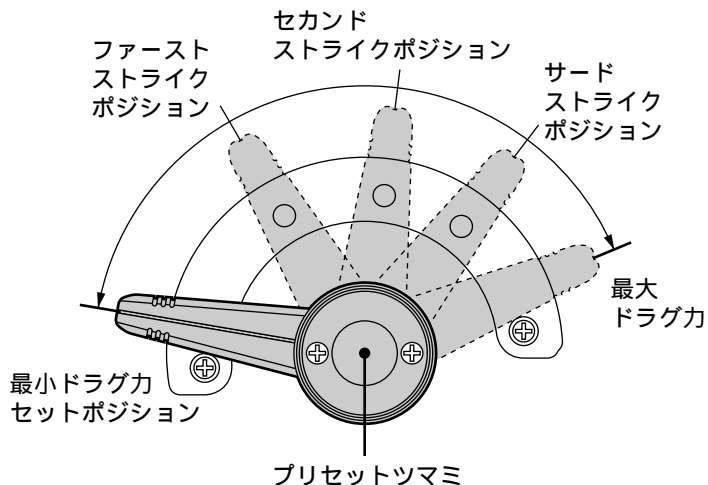
**3** 巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。

# レバードラグシステムの操作方法

## 8 最小ドラグ力から最大ドラグ力までフルに使える全域レバードラグ。

レバードラグ、レバードラグ2スピードは、クラッチ機構を採用することにより、最小ドラグ力から最大ドラグ力までレバー操作全域をやりとりに使用でき、ワイドかつ精密なドラグ調整を可能にしています。さらにクラッチを切るだけでスムーズにシカケを投入できますので、設定ドラグ力が変化することはありません。また、不意にレバーをゆるめすぎてしまっても最小ドラグ力は確保されていますので、バックラッシュの心配はいりません。

今回3つのストライクポジションを設置することにより、ハリスの太さを変えても設定ドラグ力を変えずにレバーポジションを移動するだけで、対応することが可能となりました。また、デジタナS L Sレバードラグ、レバードラグ2スピードシリーズには専用の大型ドラグワッシャが組込まれています。このドラグがスムーズ&ハイパワーを可能にしました。



**最小ドラグ力セットポジション**  
ドラグレバーをこの位置まで倒して最小ドラグ力を設定します。魚の急な引き込みに対して不意にドラグレバーをこの位置までゆるめてしまっても最小ドラグ力は確保されますので、バックラッシュの心配をせずにやりとることができます。

**ファーストストライクポジション**  
釣場でハリスの号数を落としたときのレバー位置の目安です。

**セカンドストライクポジション**  
当日メインで使用するハリスでのドラグ力をこの位置で設定しておきます。

**サードストライクポジション**  
根が荒く、糸が出せないときや太いハリスに換えたときなどレバーをこの位置に上げてやりとりの目安とします。

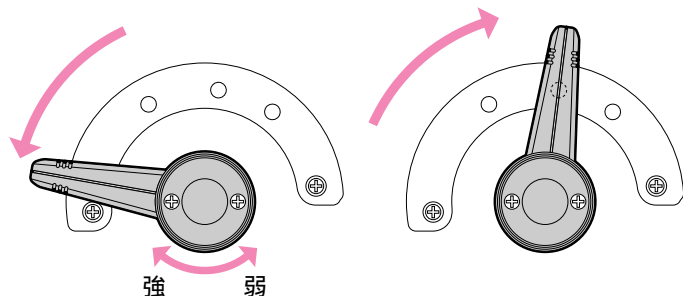
# レバードラグシステムの操作方法

## 9 ドラグの設定方法。

1 リールを使用する竿に取り付けて糸をガイドに通します。

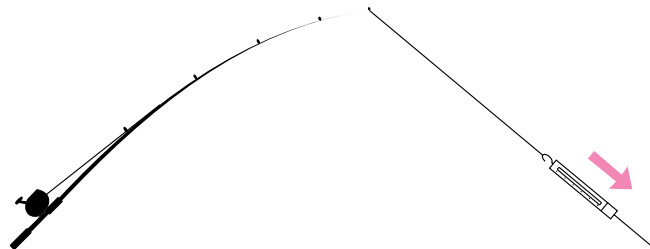
2 糸をバネバカリに取り付けます。

3 ドラクレバーを最小ドラグカセットポジションまで倒しプリセットツマミを調節します。  
次にドラクレバーをセカンドストライクポジションにします。



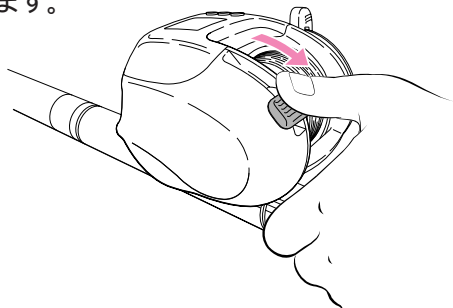
4 竿を固定（保持）し、セカンドストライクポジションで適正な張力で糸が出ていくこと（ドラグが働いている）をバネバカリで確認します。

5 もしこれで設定しようとするドラグ力でないならばドラクレバーを最小ドラグカセットポジションにもう一度もどして 3 と 4 の調節を行ないます。



# 10 実釣で生きるレバー操作。

- 1** シカケ、エサをセットしたらクラッチを切りシカケを投入します。

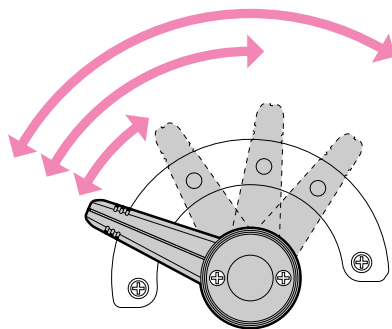


- 2** シカケがタナに届いたらクラッチをつなぎます。この間、ドラグレバーを操作せずにシカケの投入ができますのであらかじめ設定しておいたドラグ力が変化してしまうという心配がありません。

ハンドルを回転させてもクラッチはつながりませんのでご注意ください。



- 3** 魚の引きの強さ、スピードによってドラグレバーでドラグを調整してください。ドラグのスムーズ性とレバーの操作性にきっとご満足いただけると思います。また、あらかじめ設定しておいたファーストストライクポジション、セカンドストライクポジション、サードストライクポジションを使い分ければ釣場でハリスを太くしたり細くしたりしても、ドラグ力の設定し直しをせずにドラグレバーのポジションを変えるだけで多彩な対応が可能になります。



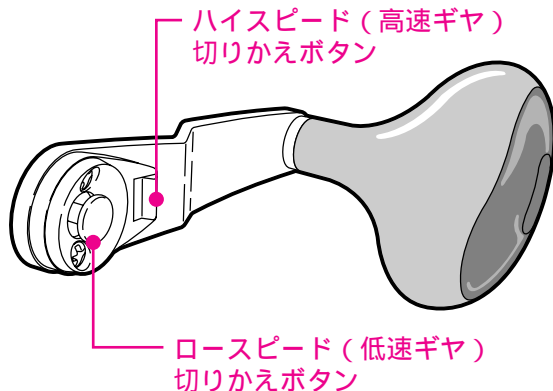
# 2スピードギヤについて

## 11 わずらわしい操作は不要！

ハイスピードからロースピードへ、ロースピードからハイスピードへ、いずれの変速もワンタッチ。ボタンを押すだけで瞬時に切りかわります。

ハイスピード / 高速ギヤ  
通常はこのスピードで使用します。  
素早い巻き上げでカラ巻き時間の短縮ができ、シカケの投入回数の増加にもつながります。

ロースピード / 低速ギヤ  
大物がかかった時など、大きな巻き上げ力を必要とする時に切りかえます。また、初心者など竿のポンピングを利用しての巻き上げができない場合でも、ロースピードなら巻き上げが可能です。

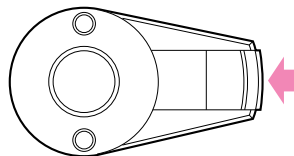


## 12 ギヤの使用方法。

### 高速ギヤの場合

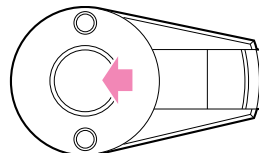
グレーの“ PUSH HIGH ” ボタンを押します。

この時ロースピードからハイスピードに変速すると、中央の“ PUSH LOW ” ボタンが突出します。また、すでにハイスピードの状態であれば“ PUSH LOW ” ボタンは突出した位置で止まっており“ PUSH HIGH ” ボタンを押しても反応はありません。



### 低速ギヤの場合

中央の“ PUSH LOW ” ボタンを「カチッ」と手応えがあるまで押します。



## 2スピードギヤの応用例

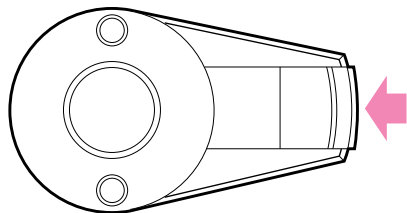
# 13 デジタナ + レバードラグ + 2スピードの機能を活用しましょう。

これらの最新のメカニズムの合体により、様々な状況に的確かつスピーディーな対応を実現します。

下記の使用例を見るようにこれら3大機能の組み合わせは、あなたのアイデアやテクニックしだいで無限に可能性をひろげます。

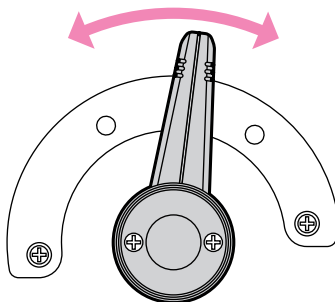
### 1 デジタナで正確なタナにシカケを投入

アタリがなければハイスピードですばやくカラ巻きができ、シカケの投入回数の増加につながります。従って、釣果アップが望めます。



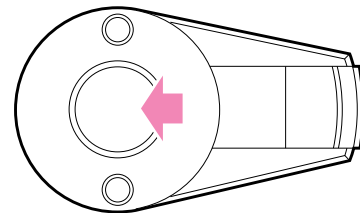
### 2 アタリ

レバードラグで楽々対応。スムーズなドラグ力と簡単なレバー操作で常に主導権を握れます。



### 3 意外な大物

意外な大物とやりとりの最中でもワンブッシュでロースピードに変速。強力なトルクで強引に巻き上げる事が可能。



# 電池の交換方法

## 1 バッテリーアラームについて

**B**マークが点灯しましたら電池の交換時期です。市販のCR2032ボタン電池をお求めの上（電器店もしくは釣具店で）交換してください。なお、**B**マーク点灯後も釣行3～4回は使用可能です。“Err”の表示が出れば電池寿命です。

## 2 電池の交換方法

電池交換はあらかじめCR2032のボタン電池を購入の上、必ず電源をOFFにしてから行って下さい。

また、3分以内に作業を終了するようにしていただくと同時に、交換中はカウンターのボタンを押さないでください。入力されていたデータが消えることがあります。

1. バッテリーキャップの固定ネジ2本をゆるめ、取り外します。

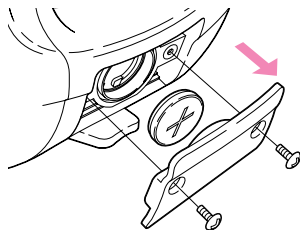
2. 古い電池を取り出します。

3. 新しい電池を入れます。  
（手前側が+になるように）

4. バッテリーキャップを取り付け、固定ネジ2本を しっかり締めつけます。

（パッキンを使用した防水構造になっていますので、パッキンに注意すると同時に、確実に取り付けてください。）

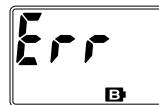
5. 電源を“ON”し、正しく電池が交換されているか、学習データが保存されているかを確認します。



交換時期



電池寿命



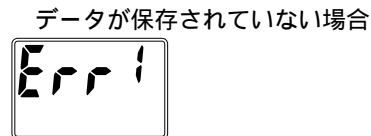
図は上からモード時の表示です。  
（下からモードの場合もあります。）  
メーカー出荷時にリールに組み込まれているものはテスト用電池です。

正しく交換されている場合、下図のように表示されますが、正しく交換されていない場合は、下図以外の表示が出たり全く表示されなかったりしますので、電池の仕様、+-、接触等を確認してください。

図は上からモード時の表示です。（底からモードの場合もあります。）  
保存されていないと図のデータが保存されている場合  
下段のような表示になります。保存されていない場合は、再度学習を行ってください。



（6～11ページ参照）



### 交換時のご注意

電池交換は必ず電源をOFFにしてから行ってください。  
電池交換中はカウンターのボタンを押さないでください。  
屋内の湿度の低い場所で行ってください。  
バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。  
電池の+-をまちがえないようにしてください。  
リールに内蔵の電池はテスト用ですので寿命の短いことがあります。

# お取り扱い上の注意

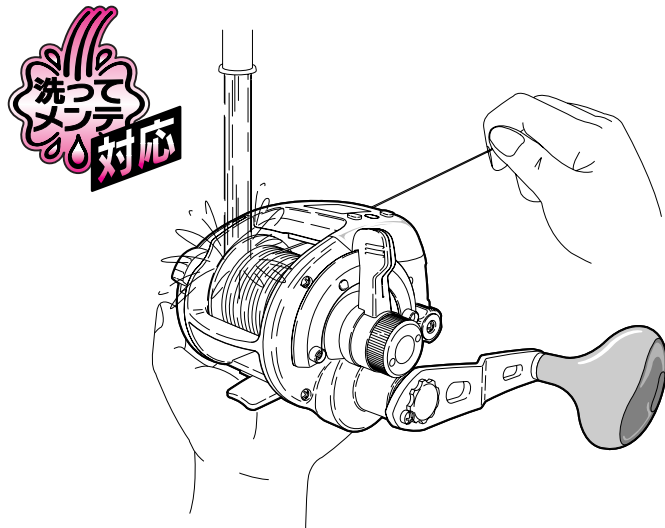
リールは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。  
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

## 1 リールのお手入れ方法について

このレバードラグ・レバードラグ2スピードはリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、簡単にメンテナンスできるシステムになっています。

用意するもの：リール・中性洗剤・スポンジ

1. 水道水をリールにかけながら、洗剤を含ませたスポンジで汚れを落とします。
2. 水をかけて洗剤を落とします。スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m出します。  
(右図参照) これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
3. 影干ししてよく乾燥させてください。  
水中に浸けて洗わないでください。





## 2 ご使用上の注意

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸が残らないように引き寄せて切ってください。

リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

バッテリーキャップは電池交換時以外には開閉しないでください。

リール収納時に各スイッチボタンが押されたままの状態になりますと電池消費を生じますので、収納時には各スイッチボタンに接触しないようご注意ください。

## 3 お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

リールは分解しないでください。特にライトサイドプレートは絶対に分解しないでください。

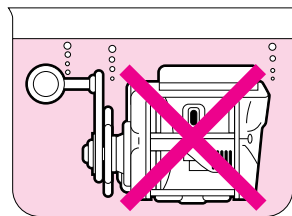
ドラッグ部分には絶対オイルを付けないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。ドラッグ部分には水が入らないようにしてください。

高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、左記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようご注意ください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水没させないでください。

(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水没させないでください。)



# 仕様

## 4 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m) 新素材デュラPE糸使用	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ベアリング (ボール/ローラ)
デジタナSLS LEVER DRAG 4000XT	RF 454000	1:3.9	10	720	8-300 10-240 12-200	72	59/45.5	10/1
デジタナSLS LEVER DRAG 2SPEED 4000XT	RF 464000	1:4.1 1:2.5	10	785	8-300 10-240 12-200	75, 46	59/45.5	10/0

標準付属品：布袋、取扱説明書、分解図、糸通しピン

糸巻量の太字は指定糸です。

# 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には、書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。

その際には必ず修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。

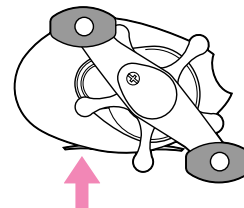
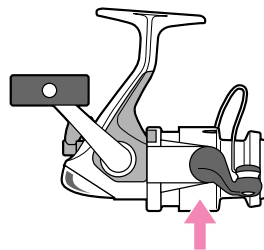
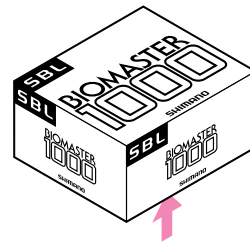
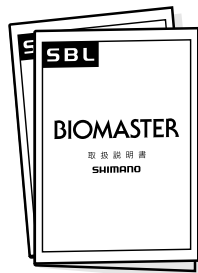
また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社または釣具サービス課へお問い合わせください。

修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。

内部の部品に関しては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。



例／商品名 : バイオマスター 1000  
製品コード : SC371000  
部品番号 : 2  
部品名 : スプール





製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品（コードの上5ケタを表示しています）

# 故障かな？と思われたときは

こんなとき	操 作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が点灯しない。	ON/OFF ボタンを押して下さい。他のボタンでは点灯しません。 電池切れ、+ - のまちがいなどを確認してください。	6、23
学習モードにならない。	モードボタンを何回か押して再度確認下さい。	6
学習セットにならない。	巻き取り長さが学習セット条件を満たしていないことが考えられます。 お手数ですが再度学習の上確認下さい。 30m以上の糸長さでの学習をおすすめいたします。	
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。	6～11
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。 糸が伸びて不正確になっているときがあります。（特にナイロン糸）	6～11
液晶表示がうすい。	室温にて確認下さい。低温（-5 以下）にて使用の場合 電池の能力低下で表示がうすくなることがあります。 そうでない場合は電池の寿命と考えられます。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。	23
ブザーの音に合わせて液晶がチカチカする。	電池の消耗によるものです。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。 その他の機能については問題ありません。	23



表示が下図のようになるときは...





	電池の消耗によるものです。 学習データ保護のため、すみやかに電池を交換してください。	23
	電池交換時に学習データが保存されていなかった場合の表示です。 お手数ですが、再度学習をおこなってください。	6～11 23

# 安全上のご注意 / サービスネット

## 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

 <b>警告</b>	
	ハンドルとボディの間に手をはさまれないように注意してください。けがの原因となります。

 <b>注意</b>	
	糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないのでください。糸で指を切る原因になる恐れがあります。 逆転防止付リールでストッパーをOFFにして釣っているとハンドルが逆転し、手に当たりけがの原因になる恐れがあります。 レベルワインド付リールでは、糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、けがの原因になる恐れがあります。 リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないよう注意してください。 リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
	回転している時、回転部分に触れないでください。けがの原因になる恐れがあります。 スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る原因になる恐れがあります。
	糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないように注意してください。ヤケドや指をはさんでけがの原因になる恐れがあります。 ドラッグ装置を長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなる恐れがあります。

## 株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10	TEL.(022) 232-4775
株式会社シマノ 大宮営業所 〒331-0052 埼玉県大宮市三橋2-684-1	TEL.(048) 622-3815
株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17	TEL.(03) 3744-5656
株式会社シマノ 千葉営業所 〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11	TEL.(043) 433-1780
株式会社シマノ 静岡営業所 〒410-0807 静岡県沼津市錦町674	TEL.(0559) 62-3983
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21	TEL.(052) 331-8666
株式会社シマノ 大阪営業所 〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4-85	TEL.(06) 6418-4541
株式会社シマノ 岡山営業所 〒700-0941 岡山市青江6-6-18	TEL.(086) 264-6100
株式会社シマノ 広島営業所 〒734-0005 広島市南区翠1-11-6	TEL.(082) 255-8143
株式会社シマノ 四国営業所 〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1	TEL.(0875) 23-2220
株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6	TEL.(0942) 83-1515
北海道釣具サービスセンター 〒065-0010 札幌市東区北十条東1丁目	TEL.(011) 752-6622

### 株式会社シマノ釣具事業部

本社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁7番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ)

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00

釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15

商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ

TEL(0722) 43-2851 / FAX.(0722) 43-2860

シマノホームページアドレスは <http://www.shimano.co.jp> です。

新製品やイベント、インストラクター情報などシマノならではのオリジナル情報を発信しています。

**SHIMANO**